

眼科豆知識～近視について～

今年新型コロナウイルスのため、学校検診が遅れてのスタートとなりました。当院でも例年は春に眼科検診の用紙をお持ちになる患者様が多いのですが、今年は6月に入って多く受診されるようになりました。今回はよく耳にする近視とはなにかお話します。

正視・近視・遠視とは

ものを見ようとする時、その対象物の光は角膜と水晶体で屈折し、網膜にて情報を受け取ります。眼が調節をしていないとき、遠方からの光がちょうど網膜にピントが合う状態を正視といい、後ろにピントが合う状態を遠視、手前にピントがあっている状態を近視といいます。大部分の近視は眼の軸の長さが長くなることによるもので、成長過程で進行してくることが多いのです。

また、近視には遺伝的要因と環境的要因が関係しているといわれています。

身長と同じように
眼の軸も成長しま



眼鏡、コンタクトレンズによる屈折矯正

学校や日常生活で遠くが見えにくい機会が多くなってきたら眼鏡をかけることをおすすめします。よくご質問をいただきますが、目に合った眼鏡を適切に使用すれば眼鏡をかけることにより、より近視が進行するという科学的証拠はありません。コンタクトレンズは自分できちんと管理ができる年齢になってから使うことができますが、感染症や角膜の傷などリスクに十分注意しなければいけません。

近視といわれたら

高度な近視は将来、黄斑変性、網膜剥離などの眼の病気のリスクが高まることがありますが、近視そのものは悪い病気ではありません。また何か行いが悪かったから近視になったのではありません。近視は20代前半まで進行する^{*}と言われています。定期的に検診を受け、必要に応じて眼鏡やコンタクトの度数を変えていかれることをお勧めします。

^{*}近視が非常に強い場合には、20代後半を過ぎても近視が進行し続ける場合があります。



院長よりごあいさつ

英語で眼鏡は一般には“glasses”と言いますが、古い言葉で“spectacles”とも言われていました。大きなショー、壮観、素晴らしい眺めと訳される(ジーニアス英和辞典より)言葉から、眼鏡がどれだけその人の見る世界を変える力があるか想像することができます。

近視、遠視、乱視や老眼の矯正だけでなく、弱視の治療にもとても大切な眼鏡のチカラを十分に発揮できるお手伝いができるように、これからも努力して参りたいと思います。

7月受付時間変更のお知らせ

学校検診のため、
受付時間を下記のとおり変更させていただきます。ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願いいたします。

7月8日(水) 9:00-12:00

7月15日(水) 9:00-12:00

